



## 2021年度決算のお知らせ

メディケア生命（社長 野村 洋一）の2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）の決算をお知らせいたします。

## &lt;目次&gt;

1. 主要業績	……	1 頁
2. 2021年度末保障機能別保有契約高	……	3 頁
3. 2021年度決算に基づく契約者（社員）配当金例示	……	3 頁
4. 2021年度の一般勘定資産の運用状況	……	4 頁
5. 貸借対照表	……	11 頁
6. 損益計算書	……	15 頁
7. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	17 頁
8. 株主資本等変動計算書	……	18 頁
9. 保険業法に基づく債権の状況	……	20 頁
10. ソルベンシー・マージン比率	……	20 頁
11. 2021年度特別勘定の状況	……	21 頁
12. 保険会社及びその子会社等の状況	……	21 頁

以上

## 本件に関するお問い合わせ先

メディケア生命保険株式会社 経営管理部  
TEL : 03-5621-3367



## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2020年度末				2021年度末			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	1,025	131.8	13,696	104.2	1,342	130.9	13,906	101.5
個人年金保険	0	122.2	5	113.4	0	163.6	8	165.3
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額については、年金支払開始後契約の責任準備金です。

新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2020年度						2021年度					
	件 数		金 額				件 数		金 額			
		前年度比		前年度比	新契約	転換による純増加		前年度比		前年度比	新契約	転換による純増加
個人保険	297	304.3	1,928	120.7	1,928	—	377	126.7	1,622	84.1	1,622	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## (2) 年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2020年度末		2021年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	55,157	133.0	71,340	129.3
個人年金保険	26	117.0	45	175.6
合 計	55,183	133.0	71,386	129.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	46,415	138.1	61,765	133.1

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2020年度		2021年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	16,502	309.3	19,698	119.4
個人年金保険	—	—	—	—
合 計	16,502	309.3	19,698	119.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	15,264	328.6	18,403	120.6

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患を事由とするものを含む）に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## (3) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

区 分	2020年度		2021年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	48,798	121.0	66,473	136.2
資産運用収益	2,426	108.7	2,606	107.4
保険金等支払金	9,767	109.3	14,331	146.7
資産運用費用	0	71.2	0	51.8
経常損失	20,500	268.2	30,366	148.1

## (4) 総資産

(単位：百万円、%)

区 分	2020年度末		2021年度末	
		前年度末比		前年度末比
総 資 産	259,227	115.4	289,792	111.8

## 2. 2021年度末保障機能別保有契約高

(単位：千件、億円)

項 目		個 人 保 険		個 人 年 金 保 険		団 体 保 険		合 計	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
死亡保障	普通死亡	1,342	13,906	—	—	—	—	1,342	13,906
	災害死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の条件付死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
生存保障		—	—	0	8	—	—	0	8
入院保障	災害入院	(1,015)	(56)	—	—	—	—	(1,015)	(56)
	疾病入院	(1,015)	(56)	—	—	—	—	(1,015)	(56)
	その他の条件付入院	(737)	(324)	—	—	—	—	(737)	(324)
障害保障		—	—	—	—	—	—	—	—
手術保障		(1,327)	—	—	—	—	—	(1,327)	—

項 目	団 体 年 金 保 険		財形保険・財形年金保険		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
生存保障	—	—	—	—	—	—

項 目	医 療 保 障 保 険	
	件 数	金 額
入院保障	—	—

項 目	就 業 不 能 保 障 保 険	
	件 数	金 額
就業不能保障	—	—

- (注) 1. 括弧内の数値は主契約の付随保障部分及び特約の保障を表します。  
 2. 生存保障欄の金額は年金支払開始後契約の責任準備金を表します。  
 3. 入院保障欄の金額は入院給付日額を表します。

## 3. 2021年度決算に基づく契約者(社員)配当金例示

該当事項はありません。

## 4. 2021年度の一般勘定資産の運用状況

### (1) 2021年度の資産の運用状況

#### ① 運用環境

2021年度の日本経済は、新型コロナウイルスのワクチン普及や各種政策の効果等により持ち直しの動きとなりました。しかしながら、年度末にはウクライナ情勢の悪化を受け、景気の先行きに対する不透明感が高まるとともに、エネルギー需給のひっ迫懸念から世界的なインフレ圧力も高まりました。また米国ではインフレ高進を受け、想定より早いペースでの金融引締めの可能性が高まりました。

- ・ 国内金利（新発10年国債利回り）は、日本銀行による金融緩和の継続により、低位での推移となりましたが、年度末には海外金利の上昇につれて、国内金利も上昇しました。

【新発10年国債利回り 2021年3月末 0.09% → 2022年3月末 0.210%】

- ・ 国内株式は、年度前半には新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や企業業績の改善などを背景に上昇しましたが、その後は変異株の流行や資源価格の高騰による企業業績への影響懸念等により軟調に推移しました。

【日経平均 2021年3月末 29,178.80円 → 2022年3月末 27,821.43円】

- ・ ドル円は、資源価格の高騰による日本の貿易収支悪化や日米の金利差拡大を主因に円が売られ、円安ドル高が進みました。

【ドル/円 2021年3月末 110.71円 → 2022年3月末 122.39円】

#### ② 当社の運用方針

当社は、資産負債の総合的管理（ALM）の枠組みのもと、生命保険という長期にわたる負債の特性を踏まえ、長期・超長期を中心とした国内債券等の運用を行うことにより、金利リスクおよび信用リスクを適切にコントロールしながら安定的な収益を確保する方針としております。

#### ③ 運用実績の概況

国内金利が低水準で推移する中、国債対比で超過収益が獲得できるクレジット資産を中心とした運用を行い、収益の確保を図りました。

(2) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2020年度末		2021年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	24,916	9.6	24,667	8.5
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有 価 証 券	214,567	82.8	238,902	82.4
公 社 債	201,391	77.7	223,822	77.2
株 式	—	—	—	—
外 国 証 券	13,175	5.1	15,080	5.2
公 社 債	13,175	5.1	15,080	5.2
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
不 動 産	114	0.0	126	0.0
繰延税金資産	493	0.2	2,112	0.7
そ の 他	19,138	7.4	23,984	8.3
貸倒引当金	△ 2	△ 0.0	△ 1	△ 0.0
合 計	259,227	100.0	289,792	100.0
うち外貨建資産	—	—	—	—

(注) 不動産については建物の金額を計上しております。

(3) 資産の増減

(単位：百万円)

区 分	2020年度	2021年度
現預金・コールローン	9,619	△ 248
買現先勘定	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—
買入金銭債権	—	—
商品有価証券	—	—
金銭の信託	—	—
有価証券	19,078	24,335
公社債	16,903	22,430
株式	—	—
外国証券	2,174	1,904
公社債	2,174	1,904
株式等	—	—
その他の証券	—	—
貸付金	—	—
不動産	△ 5	12
繰延税金資産	352	1,619
その他	5,591	4,846
貸倒引当金	0	0
合計	34,636	30,565
うち外貨建資産	—	—

(注) 不動産については建物の金額を計上しております。

## (4) 資産運用関係収益

(単位：百万円)

区 分	2020年度	2021年度
利息及び配当金等収入	2,385	2,606
預貯金利息	0	0
有価証券利息・配当金	2,385	2,605
貸付金利息	—	—
不動産賃貸料	—	—
その他利息配当金	—	—
商品有価証券運用益	—	—
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	40	—
国債等債券売却益	40	—
株式等売却益	—	—
外国証券売却益	—	—
その他	—	—
有価証券償還益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
貸倒引当金戻入額	—	—
その他運用収益	—	—
合 計	2,426	2,606



## (5) 資産運用関係費用

(単位：百万円)

区 分	2020年度	2021年度
支 払 利 息	0	0
商 品 有 価 証 券 運 用 損	—	—
金 銭 の 信 託 運 用 損	—	—
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 損	—	—
有 価 証 券 売 却 損	0	—
国 債 等 債 券 売 却 損	0	—
株 式 等 売 却 損	—	—
外 国 証 券 売 却 損	—	—
そ の 他	—	—
有 価 証 券 評 価 損	—	—
国 債 等 債 券 評 価 損	—	—
株 式 等 評 価 損	—	—
外 国 証 券 評 価 損	—	—
そ の 他	—	—
有 価 証 券 償 還 損	—	—
金 融 派 生 商 品 費 用	—	—
為 替 差 損	0	—
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	0	0
貸 付 金 償 却	—	—
賃 貸 用 不 動 産 等 減 価 償 却 費	—	—
そ の 他 運 用 費 用	—	—
合 計	0	0

## (6) 資産運用に係わる諸効率

### ①資産別運用利回り

(単位：%)

区 分	2020年度	2021年度
現預金・コールローン	0.01	0.01
買現先勘定	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—
買入金銭債権	—	—
商品有価証券	—	—
金銭の信託	—	—
有価証券	1.20	1.16
うち公社債	1.21	1.17
うち株式	—	—
うち外国証券	0.93	0.94
貸付金	—	—
不動産	—	—
一般勘定計	1.07	1.01
うち海外投融資	0.93	0.94

(注) 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、  
資産運用収益－資産運用費用として算出した利回りです。

(注) 海外投融資は、円貨建資産です。

### ②売買目的有価証券の評価損益

該当事項はありません。

③有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

（単位：百万円）

区 分	2020年度末					2021年度末				
	帳簿価額	時 価	差損益	差益		帳簿価額	時 価	差損益	差益	
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	68,688	79,401	10,713	10,791	△ 78	68,668	76,858	8,190	8,464	△ 273
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	141,738	145,879	4,141	5,046	△ 905	170,591	170,234	△ 356	3,910	△ 4,267
公 社 債	128,646	132,703	4,056	4,934	△ 878	155,297	155,153	△ 143	3,892	△ 4,036
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	13,091	13,175	84	111	△ 27	15,294	15,080	△ 213	17	△ 231
公 社 債	13,091	13,175	84	111	△ 27	15,294	15,080	△ 213	17	△ 231
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	210,426	225,281	14,854	15,838	△ 983	239,259	247,093	7,833	12,374	△ 4,540
公 社 債	197,334	212,105	14,770	15,726	△ 956	223,965	232,012	8,047	12,357	△ 4,309
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	13,091	13,175	84	111	△ 27	15,294	15,080	△ 213	17	△ 231
公 社 債	13,091	13,175	84	111	△ 27	15,294	15,080	△ 213	17	△ 231
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・市場価格のない株式等の保有および組合等への出資はありません。

④金銭の信託の時価情報

該当事項はありません。

5. 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	2020年度末 (2021年 3月31日現在)		2021年度末 (2022年 3月31日現在)		科目	2020年度末 (2021年 3月31日現在)		2021年度末 (2022年 3月31日現在)	
	金額	金額	金額	金額		金額	金額	金額	金額
(資産の部)					(負債の部)				
現金及び預貯金	24,916	24,667			保険契約準備金	224,491	260,700		
預貯金	24,916	24,667			支払備金	1,647	2,708		
有価証券	214,567	238,902			責任準備金	222,843	257,992		
国債	95,482	90,992			代理店借	5,394	4,469		
地方債	2,024	2,020			再保険借	52	70		
社債	103,884	130,809			その他負債	966	1,792		
外国証券	13,175	15,080			未払法人税等	6	6		
有形固定資産	306	367			未払金	376	645		
建物	114	126			未払費用	566	1,121		
その他の有形固定資産	192	241			預り金	8	10		
無形固定資産	6,500	7,509			仮受金	9	8		
ソフトウェア	5,970	6,248			賞与引当金	71	83		
その他の無形固定資産	529	1,261			退職給付引当金	113	380		
代理店貸	0	0			価格変動準備金	187	222		
再保険貸	60	129			負債の部合計	231,277	267,719		
その他の資産	12,385	16,103			(純資産の部)				
未収金	7,857	10,679			資本金	50,000	60,000		
前払費用	3,279	3,699			資本剰余金	50,000	60,000		
未収収益	763	957			資本準備金	50,000	60,000		
預託金	101	130			利益剰余金	△ 75,031	△ 97,661		
仮払金	6	8			その他利益剰余金	△ 75,031	△ 97,661		
その他の資産	377	628			繰越利益剰余金	△ 75,031	△ 97,661		
繰延税金資産	493	2,112			株主資本合計	24,968	22,338		
貸倒引当金	△ 2	△ 1			その他有価証券評価差額金	2,981	△ 265		
					評価・換算差額等合計	2,981	△ 265		
					純資産の部合計	27,950	22,073		
資産の部合計	259,227	289,792			負債及び純資産の部合計	259,227	289,792		

## 注記事項

(貸借対照表関係)

### 1. 会計方針に関する事項

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、その他有価証券については3月末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっております。なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

#### (2) 有形固定資産の減価償却の方法

建物は定額法、その他は定率法によっております。

#### (3) 無形固定資産の減価償却の方法

自社利用のソフトウェアは利用可能期間に基づく定額法によっております。

#### (4) 外貨建資産等の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債は、3月末日の為替相場により円換算しております。

#### (5) 貸倒引当金の計上方法

貸倒引当金は、「資産査定規程」及び「償却・引当規程」に則り、必要と認める額を計上しております。すべての債権は、「資産査定規程」に基づき、関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っております。

#### (6) 賞与引当金の計上方法

従業員の賞与に充てるため、支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

#### (7) 退職給付引当金の計上方法

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、計上しております。

退職給付に係る会計処理の方法は、次のとおりであります。

退職給付見込額の期間帰属方法 給付算定式基準

従来、退職給付債務の計算を簡便法によっておりましたが、退職給付債務の計算対象となる従業員が300人を超えたため、当期末より原則法による計算に変更しております。当該変更による退職給付債務の増加額236百万円は、退職給付費用として計上しております。

#### (8) 責任準備金の積立方法

責任準備金は、保険契約に基づく将来における債務の履行に備えるため、保険業法第116条の規定に基づき、保険料及び責任準備金の算出方法書(保険業法第4条第2項第4号)に記載された方法に従って計算し、積み立てております。

責任準備金のうち保険料積立金については、保険業法施行規則第69条第4項第4号の規定に基づいて計算しており、5年チルメル式による保険料積立金の他、保険業法施行規則第69条第4項第1号(標準責任準備金による積立)の規定に基づく積立に向け、11,857百万円を計上しております。

収納した保険料のうち、期末時点において未経過となっている期間に対応する部分については、保険業法第116条及び保険業法施行規則第69条第1項第2号の規定に基づき、責任準備金に積み立てております。

また、責任準備金のうち危険準備金については、保険業法第116条及び保険業法施行規則第69条第1項第3号の規定に基づき、保険契約に基づく将来の債務を確実に履行するため、将来発生が見込まれる危険に備えて積み立てております。

なお、保険業法第121条第1項及び保険業法施行規則第80条の規定に基づき、毎決算期において責任準備金が適正に積み立てられているかどうかを、保険計理人が確認しております。

#### (9) 価格変動準備金の計上方法

価格変動準備金は保険業法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。

#### (10) 消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、前払費用に計上し5年間で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、発生年度に費用処理しております。

### 2. 金融商品の状況に関する事項、金融商品の時価等に関する事項及び金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項は次のとおりであります。

#### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社の資産運用は、生命保険契約の負債特性に応じた資産及び負債の総合的管理(ALM)を推進し、公社債等の運用により中長期的に安定した収益の確保を図っております。

当社の主な金融商品のうち、公社債(国債、地方債及び社債)及び外国証券(公社債)については、市場リスク(市場金利等の変動により価格が変動するリスク)及び発行体等の信用リスクに晒されております。

当社は、取締役会で策定している「資産運用リスク管理方針」において、資産運用リスクのリスク管理部門を定め、資産運用全体のリスクを管理する体制を整備しております。合わせて、「資産運用リスク管理規程」において、金融商品に関する資産運用リスクである「市場リスク」「信用リスク」のそれぞれについてリスク管理の枠組みを定めるとともに、具体的なリスク管理手法を定め、リスクの定量的かつ統合的な把握・管理に努めております。また、資産運用リスクの管理部門は、投資の執行部から独立することで、組織面においても内部牽制機能を確認し、執行部に方針及び諸規程を遵守させることにより、実効性の高いリスク管理体制の構築を図っております。取締役会は、リスク管理状況の報告を受け、経営の意思決定を行っております。

市場リスクについては、金融商品の価値がマーケットの変化により、どの程度の損失を被る可能性があるかを把握・分析するため、統合的なリスク量としてバリュエーション・リスク(VaR)を計測し、これを市場リスクに備えたリスク・リミット(含み損益や売却損益等を考慮)と比較することで管理しております。

信用リスクについては、発行体の格付に応じて投資限度額を定め、投資残高が限度内であることを随時モニタリングするとともに、格付を定期的にモニタリングし信用状況の変化を管理しております。さらに、投資残高にリスク係数を乗じる等の方法によりリスク量を計測し、これを信用リスクに備えたリスク・リミットと比較することで管理を行っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

当期末における主な金融商品に係る貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金及び預貯金は、主に短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
有価証券	238,902	247,093	8,190
満期保有目的の債券	68,668	76,858	8,190
その他有価証券	170,234	170,234	-

(注1) 有価証券に関する事項

満期保有目的の債券において、種類ごとの貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	公社債	63,087	71,551	8,464
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	公社債	5,581	5,307	△ 273
合計		68,668	76,858	8,190

その他有価証券において、種類ごとの取得原価又は償却原価、貸借対照表計上額及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	種類	取得原価又は償却原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えるもの	公社債	79,725	83,618	3,892
	外国証券(公社債)	5,296	5,314	17
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えないもの	公社債	75,571	71,535	△ 4,036
	外国証券(公社債)	9,997	9,766	△ 231
合計		170,591	170,234	△ 356

(注2) 金銭債権及び満期がある有価証券の償還予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
有価証券	4,437	33,826	57,946	129,263
満期保有目的の債券	-	29	29,308	39,101
その他有価証券	4,437	33,797	28,638	90,162

※期間の定めのないものは含めておりません。

(3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、次の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

①時価をもって貸借対照表計上額とする金融商品

(単位:百万円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	42,090	128,143	-	170,234
その他有価証券	42,090	128,143	-	170,234
国債	42,090	-	-	42,090
地方債	-	220	-	220
社債	-	112,842	-	112,842
外国証券(公社債)	-	15,080	-	15,080

②時価をもって貸借対照表計上額としない金融商品

(単位:百万円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	55,837	21,020	-	76,858
満期保有目的の債券	55,837	21,020	-	76,858
国債	55,837	-	-	55,837
地方債	-	2,031	-	2,031
社債	-	18,989	-	18,989

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

(1) 有価証券

有価証券については、活発な市場における無調整の相場価格を利用できるものはレベル1の時価に分類しており、主に国債がこれに含まれます。

公表された相場価格を用いていたとしても市場が活発でない場合にはレベル2の時価に分類しており、主に地方債、社債、外国証券(公社債)がこれに含まれます。

なお、レベル3の時価に分類される有価証券はありません。

当期より、「時価の算定に関する会計基準」(2019年7月4日 企業会計基準第30号)等の適用に伴い、「金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項」の注記を追加しております。

3. 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当期末における当社の今後の負担見積額は、469百万円であります。

なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。

4. 退職給付に関する事項は次のとおりであります。

(1) 採用している退職給付制度の概要

当社は退職一時金制度を採用しており、勤務期間等に基づいた一時金を支給します。

(2) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	113百万円
簡便法で計算した退職給付費用	34百万円
退職給付の支払額	△3百万円
原則法への変更に伴う影響額	236百万円
期末における退職給付債務	380百万円

(3) 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の退職給付債務	380百万円
退職給付引当金	380百万円

(4) 退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	34百万円
原則法への変更に伴う影響額	236百万円
確定給付制度に係る退職給付費用	271百万円

(5) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当期末における主要な数理計算上の計算基礎は次のとおりであります。

割引率	0.906%
-----	--------

5. 有形固定資産の減価償却累計額は、408百万円であります。

6. 関係会社に対する金銭債権の総額は、7,516百万円、金銭債務の総額は、47百万円であります。

7. 繰延税金資産の総額は、4,755百万円であります。繰延税金資産のうち評価性引当額として控除した額は、2,642百万円であります。

繰延税金資産の発生の主な原因別内訳は、繰越欠損金2,443百万円、保険契約準備金1,563百万円であります。

繰延税金資産から評価性引当額として控除した額のうち、繰越欠損金に係る評価性引当額は2,443百万円、将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額は199百万円であります。

繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超	合計
繰越欠損金(※)	104	692	1,646	2,443
評価性引当額	△ 104	△ 692	△ 1,646	△ 2,443
繰延税金資産	-	-	-	-

(※)繰越欠損金は、地方税に係る法定実効税率を乗じた額であります。

当期における税効果会計適用の法定実効税率は、回収又は支払が見込まれる期間が2022年4月1日以降のものについては28.00%であります。

8. 保険業法施行規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金(以下「出再責任準備金」という。)の金額は、1百万円であります。

9. 1株当たり純資産額は、18,394円27銭であります。

10. 追加情報

(1) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は連結納税制度を適用しており、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度に関して、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(2020年3月31日 企業会計基準委員会 実務対応報告第39号)により、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

## 6. 損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	2020年度 〔自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日〕	2021年度 〔自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日〕
		金額	金額
経常収益		51,240	69,095
保険料等収入		48,798	66,473
保険料		48,675	66,210
再保険収入		123	262
準備金受入金		0	—
資産運用収益		2,426	2,606
利息及び配当金等収入		2,385	2,606
預貯金利息		0	0
有価証券利息・配当金		2,385	2,605
有価証券売却益		40	—
その他経常収益		15	15
その他の経常収益		15	15
経常費用		71,740	99,461
保険金等支払金		9,767	14,331
保険金		771	1,165
年金		27	39
給付金		7,243	11,162
解約返戻金		1,519	1,680
その他返戻金		29	36
再保険料		174	246
責任準備金等繰入額		26,194	36,209
支払備金繰入額		209	1,060
責任準備金繰入額		25,985	35,149
資産運用費用		0	0
支払利息		0	0
有価証券売却損		0	—
為替差損		0	—
貸倒引当金繰入額		0	0
事業費		30,421	42,007
その他経常費用		5,356	6,912
税金		3,188	4,428
減価償却費		2,140	2,216
退職給付引当金繰入額		26	267
経常損失		20,500	30,366
特別損失		28	34
固定資産等処分損		0	0
価格変動準備金繰入額		28	34
税引前当期純損失		20,528	30,400
法人税及び住民税		△ 5,144	△ 7,401
法人税等調整額		△ 100	△ 368
法人税等合計		△ 5,245	△ 7,770
当期純損失		15,283	22,630



## 注記事項

### (損益計算書関係)

1. 保険料は、原則として、収納があり、保険契約上の責任が開始しているものについて、当該収納した金額により計上しております。
2. 保険金等支払金は、保険約款に基づく支払事由が発生し、当該約款に基づいて算定された金額を支払った契約について、当該金額により計上しております。  
 なお、保険業法第117条及び保険業法施行規則第72条の規定に基づき、期末時点において支払義務が発生したもの、または、まだ支払事の報告を受けていないものの支払事由が既に発生したと認められるもののうち、それぞれ保険金等の支出として計上していないものについて、支払備金を積み立てております。
3. 関係会社との取引による収益の総額は、15百万円、費用の総額は、1,499百万円であります。  
 なお、上記の他に連結納税に伴う受取予定額7,408百万円を計上しております。
4. 責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた出再責任準備金繰入額の金額は、0百万円であります。
5. 1株当たり当期純損失は、22,445円95銭であります。
6. 関連当事者との取引は以下のとおりであります。

#### (1)親会社及び法人主要株主等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	当期末残高
親会社	住友生命保険 相互会社	被所有 直接100.0%	役員の受入 出向者の受入 連結納税等	増資の引受 (注)	20,000	-	-
				連結納税に伴 う受取予定額	7,408	未収金	7,408

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 当社の行った株主割当増資を、住友生命保険相互会社が1株につき100,000円で引き受けたものであります。

#### (2)兄弟会社等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	当期末残高
親会社の子会社	株式会社 シーエスエス	-	保険料等の 集金事務委託	集金保険料等 の受取額	31,969	未収金	3,093

## 7. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2020年度	2021年度
基礎利益 A	△ 19,850	△ 29,591
キャピタル収益	40	—
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	40	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	0	—
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	0	—
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	0	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	40	—
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△ 19,809	△ 29,591
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	690	775
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	690	775
個別貸倒引当金繰入額	0	0
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 690	△ 775
経常利益 A + B + C	△ 20,500	△ 30,366

8. 株主資本等変動計算書

2020年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	40,000	40,000	40,000	△ 59,747	△ 59,747	20,252	3,627	3,627	23,879
当期変動額									
新株の発行	10,000	10,000	10,000			20,000			20,000
当期純損失				15,283	15,283	15,283			15,283
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							△ 645	△ 645	△ 645
当期変動額合計	10,000	10,000	10,000	△ 15,283	△ 15,283	4,716	△ 645	△ 645	4,070
当期末残高	50,000	50,000	50,000	△ 75,031	△ 75,031	24,968	2,981	2,981	27,950

2021年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	50,000	50,000	50,000	△ 75,031	△ 75,031	24,968	2,981	2,981	27,950
当期変動額									
新株の発行	10,000	10,000	10,000			20,000			20,000
当期純損失				22,630	22,630	22,630			22,630
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							△ 3,246	△ 3,246	△ 3,246
当期変動額合計	10,000	10,000	10,000	△ 22,630	△ 22,630	△ 2,630	△ 3,246	△ 3,246	△ 5,877
当期末残高	60,000	60,000	60,000	△ 97,661	△ 97,661	22,338	△ 265	△ 265	22,073

## 注記事項

(株主資本等変動計算書関係)

1. 当期末における発行済株式の種類及び総数は以下のとおりであります。

(単位：株)

株式の種類	当期首	増加	減少	当期末
普通株式	1,000,000	200,000	—	1,200,000

(変動事由の概要)

増加数の内訳は次のとおりであります。

2022年3月17日の株主割当による新株の発行による増加

## 9. 保険業法に基づく債権の状況

該当事項はありません。

## 10. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2020年度末	2021年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	58,667	51,492
資本金等	24,968	22,338
価格変動準備金	187	222
危険準備金	2,766	3,542
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	3,726	△ 356
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	27,017	38,542
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	△ 12,796
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	5,104	6,158
保険リスク相当額 $R_1$	413	442
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	2,215	2,960
予定利率リスク相当額 $R_2$	21	23
最低保証リスク相当額 $R_7$	—	—
資産運用リスク相当額 $R_3$	4,115	4,810
経営管理リスク相当額 $R_4$	202	247
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,298.5%	1,672.2%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条及び第87条、並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

11. 2021年度特別勘定の状況

該当事項はありません。

12. 保険会社及びその子会社等の状況

該当事項はありません。